

◇市報は5日・20日(1月と10月は1日・20日)に発行します。すべての世帯のポストに直接配布するほか、市の施設、市内と市境にある駅・郵便局・スーパーマーケットなどでも配布します。



11月は児童虐待防止月間 地域全体で虐待から子どもを守ろう

虐待を受けている子どもや虐待をしている保護者は、さまざまなサインを周りに発しています。ちょっとした「目くばり」「気くばり」で、手を差し伸べられるのは地域の皆さんです。「おかしい」と感じたら迷わずご連絡ください。



体罰などによらない子育てのために 令和2年4月から 子どもへの体罰は法律で禁止に

つしは、子どもの人格や才能などを伸ばし、自律した社会生活を送るようにはサポートしていくことです。一方、体罰は、身体に何らかの苦痛を引き起こす、または不快感を意図的にもたらす行為(罰)のことです。たとえしつけのためと保護者が思っても、法律で禁止される体罰に該当します。

◆しつけと違って、こんなことをしていませんか

- 体罰は子どもの健全な成長・発達に悪影響を与える可能性があります。
- 何度も言葉で注意しただけ、言うことを聞かないので頬をたたいた
- いたがらしたので、長時間正座をさせた
- 宿題をしなかったため、夕食を与えなかった

◆子どもとの関わり方の工夫をパンフレットで紹介

体罰などにならない子育てをを広げるために関わり方の工夫の一例をパンフレットで紹介しています。詳しくはホームページ(右のQRコード)をご覧ください。



厚生労働省 ホームページ



子育ての不安や悩みは子ども家庭支援センターへ

子ども家庭支援センターは、子どもと家庭の総合相談窓口です。子どもが可愛いと思えない、子育てが楽しくない、子どもとの関わり方で悩んでいるなど、子育ての不安や悩みは、1人で抱え込まず、問合せ先へご相談ください(電話・メール可)。※面談は、申込みが必要です。



問合せ 小平市子ども家庭支援センター(小川東町4-2-1 小平元氣村おがわ東) ☎042(348)2102、✉kodomokatei_kodaira@unchusha.com



子ごころ・親ごころ相談 東京アケント

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日～25日は、女性に対する暴力の根絶を訴えるパパーリオン運動の期間です。

令和2年度のテーマは、「性暴力をなくそう」です。暴力や、望まない性的な行為などの性的な暴力は、年齢、性別にかかわらず身近な人や配偶者・パートナーの間でも起こります。一人で抱えこまず相談してください。

性犯罪・性暴力の被害者のためのワンストップ支援センター(#8891)

性犯罪・性暴力の被害にあった方の状態やニーズを把握し、必要な支援が提供できる関係機関や団体(カウンセラー、法律相談、産婦人科医療など)を紹介します。匿名で相談できます。秘密は厳守します。

緊急の場合 各都道府県警察 性犯罪被害相談窓口 全国共通番号 ☎#8103

小平市の相談窓口 女性相談室

女性が抱えるさまざまな問題を専門の相談員と一緒に考え、解決する場です。秘密は厳守します。

- 夫婦関係のことを相談したい
- 配偶者やパートナーからの暴力で悩んでいる
- 生き方について迷いがある
- 職場の人間関係に悩んでいる

とき 月曜～土曜日 午前10時～午後4時 ※月曜日は午後6時まで。

問合せ 女性相談室 ☎042(345)2415

※ほかに、内閣府のDV相談プラスでは、電話、メール、チャットで相談できます。詳しくはホームページ(右のQRコード)をご覧ください。



内閣府 DV相談プラス

パネル展示と啓発グッズ配布

とき 11月5日(木)～27日(金) ところ 市役所1階ロビー 問合せ 市民協働・男女参画推進課 ☎042(346)9618

児童虐待とは

- 身体的虐待** 殴る、蹴る、叩く、家の外へ閉め出すなど
- 性的虐待** 性的ないたづらをする、性的行為を見せるなど
- ネグレクト** 食事を与えない、ひどく不潔なままにする、病気のなかに医師に見せないなど
- 心理的虐待** 無視する、言葉で脅す、子どもの前で家族に暴力をふるうなど

◆虐待の特徴

- 子どもからのサイン**
 - 不自然な傷や打撲の痕がある
 - 衣服や身体がいつも汚れている
 - 落ち着きがなく乱暴、情緒不安定である
 - 食事に異常な執着を示す
 - 表情が乏しい、活気がない
- 保護者からのサイン**
 - 地域との交流がなく、孤立している
 - 頻りに小さい子どもを家に残して外出している
 - 子育てに関して拒否的、無関心である
 - いつもイライラして子どもに当たる
 - 子どもがけがや病気になっても医者にもせよとしない

虐待かもと思ったらご連絡を

ご連絡いただいた方の情報が本人に漏れたり、責任を問われることはありません。

◆子ども家庭支援センター(虐待ほっとライン)

☎042(347)3192 火曜～土曜日 午前10時～午後6時

◆緊急時

警察 ☎110 救急 ☎119 小平児童相談 ☎042(467)3711

◆児童相談所

虐待対応ダイヤル 24時間受付 ☎189

LINE(ライン)で相談を

東京都では、児童虐待を防止するため、無料通話アプリLINEで子どもや保護者からの相談を受け付けています。子育ての悩みや困っていることなど、ひとりで抱え込まずご相談ください。右側のQRコードからアクセスし、友達登録してご利用ください。 問合せ 東京都福祉保健局少子社会対策部計画課 ☎03(5320)4137



子ごころ・親ごころ相談 東京アケント

発達に気になる子どもや障がいのある子どもの保護者のための交流会

◆みんなではなそう会

交流会では、子どもの発達や障がいについて参加者同士で相談できるほか、専門家から適切な助言を受けられます。

とき 11月10日・25日、12月8日、16日、令和3年1月13日・19日、2月2日・16日・24日、3月9日・24日 火曜・水曜日 午前10時～正午 ※各回、途中の時間から参加可。

ところ 中央公民館

対象 市内在住で発達に気になる子どもや障がいがある子どもの保護者(子ども同伴可)

定員 各20人程度

申込み 当日、会場へ

◆おやごだのしむおもちゃとあそびのひろば

子どもたちの豊かな成長に大切な遊び。

楽しく遊びながら、指先や身体の発達を促し、集外力・コミュニケーション

◆11月6日(金)・24日(火) 令和3年度保育園などの入園申込み

令和3年4月からの、市内保育園などの入園申込みを、原則、送付で受け付けます。

詳しくは、入園のしおりをご確認ください。

◆現況届の提出をひとり親家庭医療費助成制度

医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

ひとりに医療費助成制度

共 通

主 催 白海学園大学、小平市 問合せ 障がい者支援課 ☎042(346)9540

発達に気になる子どもの子育ての悩みを相談

発達に気になる子どもを育てた経験をもつ先輩保護者(ペアレント・トーカー)がその経験を生かして、今困っている保護者の悩みを聞いた

とき 12月3日、令和3年1月7日、2月4日、3月4日の木曜日

ところ 福祉会館

対象 市内在住で発達に気になる子どもの保護者

定員 各10人程度

申込み 当日、会場へ

◆伝説文化親子教室

文化庁の補助金を受けて開催する教室です。

参加者を募集

◆オンライン講座

授業の課題や調査・研究に役立つ資料の探し方を学ぶ講座です。

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246

◆児童絵画コンクール

子どもたちの魅力や自由を描いた子どもたちの力作、約30点を展示します。

とき 11月8日(日)～12月7日(月)

ところ ルネこだいら1階情報ロビー

◆プログラミング教育はなぜ必修化されたのか

コンピュータを理解し活用する力は、子どもたちにとって、これから重要なスキルです。

講演会では、市内の小学校でも研究授業をしている東京学芸大学の加藤直樹准教授が、令和2年度から必修化されたプログラミング教育の必要性を話します。

とき 12月12日(土) 午後1時～1時45分

ところ 中央公民館ホール

◆小平地域教育ポータル・ネット事業

放課後、中学生に宿題や、わからない問題の解き方を指導します。

とき 定期テスト前の2日間 午後4時～6時(都合の良い日のみで可)

ところ 花小金井南中学校

◆中学生の勉強を手伝いませんか

教員資格の有無は問いません。

申込み 花小金井南中学校、副校長 ☎042(465)0451

◆コロナ禍での暮らしの特集

ひらくは、公衆市民が企画・編集した男女共同参画の啓発広報誌です。特集は「コロナ禍の暮らしについて」のアンケート掲載されています。

市内の公共施設などにあるほか、

◆医療証書をお持ちでない方は、返済が免除されます。

◆医療証書をお持ちでない方は、返済が免除されます。

◆医療証書をお持ちでない方は、返済が免除されます。

◆医療証書をお持ちでない方は、返済が免除されます。

上映会

◆古典芸能の日本舞踊で舞台を体験

とき 12月1日(木)、令和3年1月5日(火)・14日(木)・17日(日) 午後4時～7時30分 全7回

ところ 東部市民センター(火曜日)、中央公民館(木曜日)

対象 3歳～中学生

◆音楽会

伝統ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

伝説ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

◆親子で楽しむお箏の世界

伝説ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

◆音楽会

伝統ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

◆親子で楽しむお箏の世界

伝説ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

◆音楽会

伝統ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

◆親子で楽しむお箏の世界

伝説ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

◆音楽会

伝統ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

◆親子で楽しむお箏の世界

伝説ある日本の楽器、お箏とピアノの美しい合奏で、お子さんにもなじみのある楽曲(スパーパリオメドレー、パプリカ)となりのトトロのさんぽなどを届けます。

とき 11月19日(木) 午前10時～正午ごろ 9時30分開場

ところ 中央公民館講座室2

講座

◆オンライン講座

授業の課題や調査・研究に役立つ資料の探し方を学ぶ講座です。

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246

◆児童絵画コンクール

子どもたちの魅力や自由を描いた子どもたちの力作、約30点を展示します。

とき 11月8日(日)～12月7日(月)

ところ ルネこだいら1階情報ロビー

◆プログラミング教育はなぜ必修化されたのか

コンピュータを理解し活用する力は、子どもたちにとって、これから重要なスキルです。

講演会では、市内の小学校でも研究授業をしている東京学芸大学の加藤直樹准教授が、令和2年度から必修化されたプログラミング教育の必要性を話します。

とき 12月12日(土) 午後1時～1時45分

ところ 中央公民館ホール

◆小平地域教育ポータル・ネット事業

放課後、中学生に宿題や、わからない問題の解き方を指導します。

とき 定期テスト前の2日間 午後4時～6時(都合の良い日のみで可)

ところ 花小金井南中学校

◆中学生の勉強を手伝いませんか

教員資格の有無は問いません。

申込み 花小金井南中学校、副校長 ☎042(465)0451

◆オンライン講座

授業の課題や調査・研究に役立つ資料の探し方を学ぶ講座です。

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246

◆児童絵画コンクール

子どもたちの魅力や自由を描いた子どもたちの力作、約30点を展示します。

とき 11月8日(日)～12月7日(月)

ところ ルネこだいら1階情報ロビー

◆プログラミング教育はなぜ必修化されたのか

コンピュータを理解し活用する力は、子どもたちにとって、これから重要なスキルです。

講演会では、市内の小学校でも研究授業をしている東京学芸大学の加藤直樹准教授が、令和2年度から必修化されたプログラミング教育の必要性を話します。

とき 12月12日(土) 午後1時～1時45分

ところ 中央公民館ホール

◆小平地域教育ポータル・ネット事業

放課後、中学生に宿題や、わからない問題の解き方を指導します。

とき 定期テスト前の2日間 午後4時～6時(都合の良い日のみで可)

ところ 花小金井南中学校

◆中学生の勉強を手伝いませんか

教員資格の有無は問いません。

◆わらべうたであそぼう

わらべうたや手あそびを通じた、親子のふれあい時間と、保護者同士の交流の場です。わらべうたなどを楽しみながら、ゆっくりお子さんと過ごしたり、保護者同士交流したりする時間を作りませんか。

とき 11月19日(木) 午後3時～4時

ところ 小平市子ども家庭支援センター

対象 0～2歳のお子さんとその保護者

定員 8組



◆思春期の子どもと関わるポイント

子どもとの会話が減った、何を考えているのかわからないなど、お子さんと関わる中で気になることはありませんか。思春期の子どもの脳と心、発達の特徴を学び、子どもへの関わり方などを考えます。

とき 12月5日(土) 午後2時～3時30分

ところ 子ども家庭支援センター

対象 小学5年生～中学生のお子さんの保護者

定員 8組



◆障がい者作品展

12月1日(火)から市役所階ロビーなどに展示する、障がい者作品展の作品、絵画、習字、陶器、手芸、写真などを募集します。作品展の日程など、詳しくはお問い合わせください。

対象 市内在住・在勤・在学の障がいのある方 ※作品は作品展終了後に返却します。作品展の管理・運営上、受け付けできない作品もあります。詳しくは、お問い合わせください。

申込み 11月5日(木)から16日(月)までに、作品問合せ先へ持参

問合せ 障がい者支援課 ☎042(346)9540、042(346)9541

後援 小平美術館、小平市教育委員会、小平市文化振興財団 ☎042(345)5111



◆オンライン講座

授業の課題や調査・研究に役立つ資料の探し方を学ぶ講座です。

問合せ 中央図書館 ☎042(345)1246